



Japan Venture Capital Association

日本ベンチャーキャピタル協会
ニュースレター
No.31

2013年1月30日発行

2013年 年頭所感

会員各位

ベンチャー業界を支援する皆様方におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと思います。

今年の十干十二支は「癸巳（みずのとみ）」です。

「癸」は物事を「はかる」、物事の原則筋道を立てるという意味があります。

従い、筋道が立たぬと混乱、騒動を引き起こします。

一方、「巳」は冬眠をしていた蛇が春になり地表に這い出す象形文字で、旧来の因習に終わり（巳む：やむ）を告げることを意味します。

つまり、表面を繕いながら、筋道を外したり、はたまた声高に延命を図ってきた諸々の制度、慣行、規制には終わりが来る年となることを意味するのではないのでしょうか。

日本の国のビジネスモデル変革の必要性は、大手家電メーカーの苦境を見るまでもなく、いよいよ待ったなしです。2006年以降、下降線を辿ってきたIPO社数も徐々に増えつつあり、2～3年以内には一つの目安である100社超えも視野に入ってきました。

2013年の経済環境は、あらゆるグローバルな事象に左右され、ますます厳しいものとなることは間違いありません。日本の立ち位置は、ますます閉塞感を高めることも予想されます。

しかし、それが、新しいチャンスがないことを意味するものではありません。

要は、従来方向を継続するのか、新たな成長路線に挑戦するのかという岐路で何を選択、実行するかです。

但し、ここで忘れてはならないことは、予測不能、不確実な時代は一過性ではなく、永遠に続くということです。どんな優秀な経営者でも、先見は不可能であり、失敗を犯すという前提に立って物事の本質を見極めることです。

幸いにも日本には、未開拓なビジネスチャンスが手付かずで転がっています。

今年の目標として、徹底的な規制緩和を目差し、ベンチャー起業家の持つ能力が真に発揮できる環境を整備していきたいと考えます。

規制緩和に関しては、日本ニュービジネス協議会（JNB）とも歩調を合わせて推進していきます。

今年も皆様方の熱いご協力を期待します。

皆様方と一緒に達成感の持てる年にしたいと思います。

会長 安達 俊久



「Asia VC&PE Council and Network Forum 2012」開催

昨年10月10日「Asia VC&PE Council and Network Forum 2012」が京王プラザホテル東京で開催されました。これは昨年1月香港において「Asia VC&PE Council」アジア9ヶ国・地域による設立が合意され、第1回の議長国に日本が選出されたのを受けて開催されたものです。当日は、安達JVCA会長が議長となりCouncilを開催後、経済産業省主催によるNetwork Forum とレセプションが行われ多数の参加者が出席し盛況のうちに閉会いたしました。

<10/9前夜祭>

会場：(株)サイバーエージェント・ベンチャーズ
参加人数：約130名。

<10/10 Council / 10/10 Network Forum / 10/10 レセプション>

会場：京王プラザホテル東京

<参加国・地域>

Councilメンバーの9ヶ国・地域の内、Australia・China・India・HongKong・Korea・Singapore・Taiwan の7ヶ国・地域が参加。

■Network Forum参加人数：約300名

■レセプション参加人数：約200名

アジア各国と日本とのクロスボーダーによる協調等をテーマとしたフォーラムではJVCAが初代議長国を務め、業界発展の為に国際協力につき活発な議論がかわされました。

国会議員や著名人も多数参加、プレス説明会では長時間におよぶ記者会見も行われました。

開催に際しまして、理事・監事各位、協会関係者各位から多大なるご協力を賜りましたこと深く御礼申し上げます。

10/9 前夜祭



10/10 カウンシル



10/10 ネットワークフォーラム



参加した海外VC/PE協会



「規制・制度改革に係る意見書」内閣府宛提出

昨年11月5日、内閣府「経済活性化ワーキンググループ」において、「成長マネー活性化に関わる規制・制度改革要望」のご説明を申し上げました。

その後、11月30日閣議で、「日本再生加速プログラム」、規制・制度改革の中で、新興市場の規制緩和に関して、アメリカJOBS法を踏まえて合理化を図ることが決定されました。

新興企業による経済活性化に資する規制緩和は当協会にとって重要なテーマであり、今後も徹底的な規制緩和を目指し、ベンチャー起業家の持つ能力が真に発揮できる環境を整備したいと考えます。引き続きご協力と厚いご支援をお願いいたします。

「第5回中国・四国地区VCトップ懇談会」開催

昨年11月16日に中国・四国地区のVC各社のトップ間の情報交流を目的として「第5回中国・四国地区VCトップ懇談会」を開催しました。

例年の通り中国・四国地区以外の九州地区や関西地区のベンチャーキャピタルにもお声かけし総勢55名と数多くのVC関係者の方々にご参加頂きました。

今回は、株式会社ひろしまイノベーション推進機構代表取締役社長 山下尊弘様、経済産業省 経済産業政策局 新規産業室 新規事業調整官 石井芳明様、株式会社三宅 代表取締役社長 三宅正光様の3名の方々にご講演いただきVC各社間の情報交換・共通の課題・問題への意識を高め合う良い機会となりました。

「Asia Financial Forum 2013」香港にて開催

1月14日～16日にAsia Financial ForumおよびAsia Private Equity Forumが香港で開催され、安達会長・橋本常務理事が出席しました。金融関係者や政府関係者など32ヶ国から総勢2000人が集まり議論を交わしました。

香港では、第2回Asia VC&PE Council開催に関して討議され、本年5月下旬に次回議長国韓国で開催されることが決まりました。

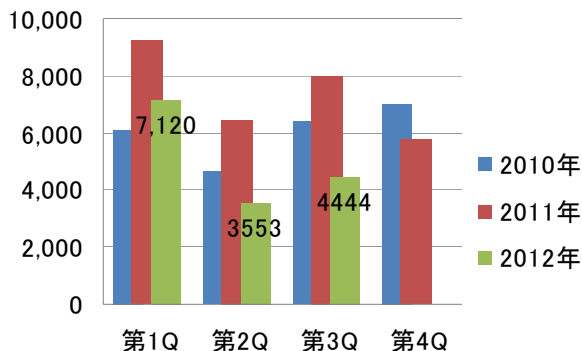


「2012年第3四半期（7月～9月）の投資動向調査」

JVCA会員33社の協力を得て2012年第3四半期の投資実績を集計しました。投資額は44億円、前年同期（2011年3Q）比約44%減、直近の2012年2Qと比較すると約25%増となりました。

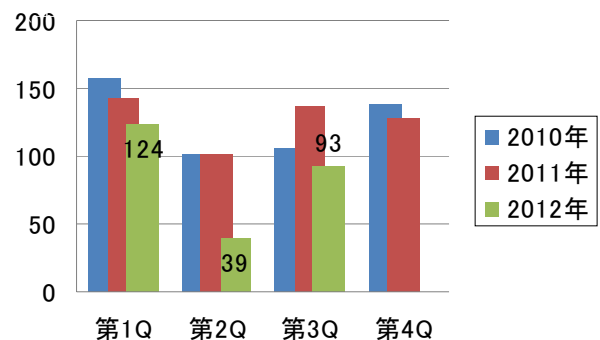
2012年3Qの投資件数は93件で、前年同期比約32%減となりました。

投資金額推移



	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
2010年	6,137	4,624	6,385	7,010
2011年	9,241	6,478	7,963	5,754
2012年	7,120	3,553	4,444	

投資件数（ディール数）



	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
2010年	158	101	106	138
2011年	143	101	137	128
2012年	124	39	93	---

JVCAからのお知らせ

1. 【訃報】当協会監事 細川信義氏 逝去のお知らせ

エンゼルキャピタル株式会社代表取締役社長、当協会監事の細川信義氏が2012年11月18日にご逝去されました。協会設立またその後10年の長きに渡り協会活動・発展に多大な多大なご尽力をいただきました。ここに細川信義氏のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

2. 2013年1月22日 臨時会員総会を開催

1/22臨時総会が開催され理事 松本守氏が退任し、新たに日本アジア投資株式会社代表取締役社長細窪 政氏が理事に就任されましたことをお知らせいたします。

3. 「投資動向調査」終了のお知らせ

2012年第3四半期（7月～9月）調査に於いてJVCA投資動向調査は終了させていただくことになりました。長期に渡りご協力を賜りましたことを御礼申し上げます。有難うございました。

4. 「Facebook」を開設

フェイスブックが2013年1月よりスタートいたしました。今後はフェイスブックを活用した情報発信もして参りますのでJVCAホームページのバナーよりFacebookにログインしご活用ください。皆様からのいいね！をお待ちしております。



5. 会員の入会

10月23日付 VC会員 株式会社サイバーエージェント・ベンチャーズ
12月11日付 賛助個人会員 スコット・フォスター氏

※1月末日現在 VC会員47社 賛助会員62社（名）ベンチャーキャピタリスト会員8名 合計117社

6. 勉強会等のご案内

今後開催予定の勉強会や委員会は以下のとおりです。

- ・法務委員会主催勉強会（2/18）
テーマ：「改正犯罪収益移転防止法」
講師：西村あさひ法律事務所
弁護士 町田行人先生

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.31

■発行日 平成25年1月30日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA企画部／事務局

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1
新宿フロントタワー

TEL : 03-5937-0300 FAX : 03-5937-0301

E-mail : jimukyoku@jvca.jp URL : http://www.jvca.jp/

